

2026年度  
事業計画書

2026年4月 1日から  
2027年3月31日まで

公益社団法人日本麻酔科学会

## 法人の概要

日本麻酔科学会の大きな使命は、安全で質の高い医療を提供するための事業活動を通して、国民の健康と福祉の増進に寄与することである。本学会はこの使命を達成するため、これまで麻酔科専門医の育成や国民への啓発をはじめとする種々の取り組みを行ってきた。2001年に社団法人に、2011年4月1日に公益社団法人に認定され、本学会の社会貢献の役割が更に明確化されたところである。

本学会の発展と向上のためには、多岐にわたる情報収集と的確な状況把握が不可欠であり、「日本麻酔科学会中期・長期計画」を2008年度に策定、数年に一度改定し、それに基づき単年度の事業計画を作成している。

### (基本方針)

以上の状況を踏まえ、本年度は次の4点を軸に事業計画を策定した。

- (1) 公益法人として従来の取り組みを検証しつつ、事業の明確化を図る。
- (2) 学会理念、中期・長期計画に基づき、より効果的な計画を立案する。
- (3) 定款及び内部規程に沿った業務運営を徹底させ、組織の強化を図る。
- (4) システムを構築し、基本情報の整備を行う。

## 1. 事業の概要

本学会は、以下の理念を掲げ事業を行う。

公益社団法人日本麻酔科学会（以下、本学会という）は、周術期の患者管理を中心としながら、救急医療、集中治療、疼痛管理、緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で安心できる医療を提供する。

### (1) 質の高い麻酔科医の育成

質の高い麻酔科医とは、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等において優れた知識と技術、およびコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える者である。本学会は知識や技術、能力を習得するためソフト面およびハード面を整備し、次世代の日本の医療を十分に担う質の高い麻酔科医を多く育成する。

### (2) 先進的研究の推進と新たな医療技術の創成

医療において人類の幸福に役立つ新しい知見や技術の創成が重要である。本学会はそのような研究を支援し、得られた発見（知見）や技術、情報を社会に提供する。

### (3) 麻酔科医療の啓発

国民が安全で安心できる医療を受けるには、国民に対し麻酔科医療に関する正しい知識や認識を提供する必要がある。本学会は広報活動や日常の診療を通じて国民に麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、その認識を普及させる。また、医学生や研修医に対しても麻酔科関連医療の重要性を啓発し、麻酔科専門医の拡充を図る。

### (4) 他領域との協働

患者中心の安全で質の高い医療を供給するために、本学会は他科の医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士などの他職種医療従事者と真のチーム医療として周術期管理チームを組織し、それを実践する基盤を確立する。

### (5) 国際的な医療連携への貢献

麻酔関連領域における国際的医療水準を高めることは重要である。本学会は世界各国との連携のもとに国際的な医療人の育成や組織作りを推進する。世界麻酔科学会（WFSA）及びアジア・オーストラレーシア地区（AARS）の一員として、とくにアジア地域と人材および知識交流に努める。

## 2. 事業の区分

理念に基づく事業区分を公益法人申請にあたり、以下の通りとした。

### (1) 公益目的事業

公1 麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業（学術事業・交流事業）

公2 麻酔科関連業務に関わる医師及びその他の医療従事者が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、社会に安全で良質な医療を提供するための事業（教育事業・安全事業）

公3 一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業（公益事業）

### (2) 収益事業

収1 医師賠償責任保険、所得補償保険の加入仲介事業

収2 展示出展事業

収3 什器備品使用賃貸事業

### (3) その他（管理運営部門）

## 3. 事業計画

### (1) 公益目的事業

事業区分にある公益目的事業公1、公2、公3にある事業を組織運営上、委員会に割り振り運営を行う。

公1は、学術事業、交流事業であり担当委員会は、以下の通りである。

- ・学術委員会
- ・国際交流委員会
- ・関連領域検討委員会

公2は、教育事業、安全事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・教育委員会
- ・多職種連携委員会
- ・安全委員会

公3は、公益事業であり担当委員会は以下の通りである。

- ・広報委員会
- ・麻酔博物館委員会

### (2) 収益事業

収1は、医師賠償責任保険、所得補償保険の加入仲介事業を実施する。

収2は、学術集会開催時に附設展示会を実施する。

収3は、当学会が所有している什器備品の一部を関連団体へ賃貸する。

### (3) 管理部門

管理運営部門として以下の組織を置き、運営を行う。

- ・総務委員会
- ・財務委員会
- ・倫理委員会
- ・事務局
- ・ハラスメント対策室
- ・DEI推進室
- ・支部委員会

各委員会の委員長は理事とし、統括として常務理事をおいて運営を行う。以下に各委員会の事業計画の概要を記す。

## (1) 公益目的事業

### <公1：学術・交流事業>

#### 1) 学術委員会

- ・学術集会運営

2026年度は学術事業の在り方、ならびに事業運営の検証を行いつつ、学術集会運営において改善すべき点を検討する。具体的には、セッション毎の参加者状況を把握・分析し、今後の企画と運営に反映し、年次学術集会を長期的な視野で捉え、一貫性を持たせた学術方針の基、開催場所、時期、テーマの概要を決定・運営し、日本専門医機構認定講習の運営やその変更に合わせた検討・導入・検証をあわせて行う。学術集会国際化検討、一般演題投稿減少対策及び募集要項、査読基準の見直しを行い5月に年次学術集会を現地とWEBのハイブリッド開催、9月に支部学術集会を現地にて開催する。

##### ① 第73回学術集会

日 程：2026年5月21日（木）～5月23日（土）

場 所：パシフィコ横浜

WEB 配信期間：2026年5月21日（木）～6月30日（火）

会 長：山蔭 道明

テーマ：「麻酔科学を究める」

##### ② 支部の学術集会（各支部にて現地開催）

日 程：2026年9月5日（土）、9月12日（土）

会 長：牧野 洋（北海道・東北支部第16回学術集会）

照井 克生（関東甲信越・東京支部第66回合同学術集会）

高澤 知規（東海・北陸支部第24回学術集会）

川口 昌彦（第72回関西支部学術集会）

二階 哲朗（中国・四国支部第63回学術集会）

堀下 隆文（九州麻酔科学会第64回大会）

- ・機関誌・準機関誌等の発行・頒布、査読編集

機関誌は「Journal of Anesthesia（国内外の研究業績、以下JA）」と「JA Clinical Reports（臨床研究、以下JACR）」の2誌であり、JAは2カ月ごとに発刊、JACRは論文ごとに随時に掲載する。JAは、会員には無償で閲覧、投稿を可能とし、官公庁、研究者、国内外の関連する学術団体等に頒布する。さ

らに、インパクトファクター（引用度）を向上させるため、Invited Review の掲載依頼，ならびにその Open Access を実施する。JACR は、年々増加傾向にある論文掲載料（以下、APC: Article Processing Charge）を考慮し、APC の一部会員負担とするなど、在り方を検討する。JA 及び JACR における査読者の育成のため、年間優秀査読者を選考し顕彰する。準学会誌「麻酔」は 12 号/年を発行し、増刊号として「学術集会プログラムおよび抄録集」を作成、会員に無料配布する。「学術集会プログラムおよび抄録集」のプログラム部分は冊子として発刊し、抄録部分は電子媒体で提供している。抄録は、客観的かつ公正な査読を行い採択に至った一般からの応募演題および講演からなり、会員には、会員専用ホームページに掲載し、非会員には 1 年間の期限付きで電子媒体を販売、学術集會会期中は参加者に向けてプログラム及び抄録の閲覧が可能な端末用アプリを構築する。

- ・麻酔用語集の改訂

第 5 版第 1 訂の内容確認および掲載、第 6 版の改訂内容を検討する。

- ・学術研究の奨励、支援

- ① 学術研究の奨励

麻酔科学領域における適切な臨床研究を支援・推進する。

- ② 学術論文雑誌，医療関連雑誌，映像等の収集・集約化（学術関連資料アーカイブ事業）

国内外の麻酔科関連分野の学術論文，医療関連の雑誌・映像等を麻酔博物館に収集・集約し，医学・医療について正しく理解できる場を，会員はもとより一般市民やマスメディアに提供する。また，日本専門医機構認定講習会の映像を録画し，教育資料として保存するとともに，e-learning として配信する。

- ③ 研究業績等の表彰（研究表彰事業）

学会賞 5 賞（山村記念賞・青洲賞・若手奨励賞・松木賞・社会賞）の選考を行い，顕彰する。

学術集會一般演題において優秀な投稿演題の選考を行い，表彰する。また，セッション毎に発表を含めた最も優秀な演題を審査のうえ決定し，最優秀演題賞として顕彰する。

## 2) 国際交流委員会

諸外国の麻酔科関連団体と本法人の交流を活性化させること，WFSA（世界麻酔科学会連合）が世界各地で実施する事業への参画ならびに協力体制の確立，WFSA の下部組織となる AARS（アジア・オーストラレーシア麻酔科学連合）での活動，東アジアの学術基盤を形成するため大韓民国，中華人民共和国と本国で東アジア麻酔科学会（EACA）の持ち回り開催を計画している。

また，各国が主催する学術集會時に人的交流と知識交流を行うことを目的とし，適任者を選出して会員派遣を行い，より一層の活性化を目指すとともに，国民への安全な麻酔提供に関する国際水準の知識交流を図る。高い質の麻酔科医と次世代のリーダーシップを育成することを目指し，ESAIC（ヨーロッパ麻酔科学会）と共同事業を行い，そのための運営体制を検討する。

## 3) 関連領域検討委員会

「他領域と協働する医療」に関連する交流事業として，集中治療，救急医療，疼痛治療，緩和医療，心臓血管麻酔，産科麻酔，小児麻酔などの麻酔科関連領域団体・構成員と協議・連携し，麻酔科医が幅広い分野においてその能力を発揮して活躍するための基盤構築にかかる活動を行う。サブスペシャリティ領域学会の専門医制度に関し，教育委員会と合同で日本専門医機構認定取得に向けた検討・調整を行う。当学会と関連する領域の学会・団体と，専門医制度のみならず医療政策や医療経済など医療を取

り巻く諸問題の解決に向けて、組織同士で協議を行える枠組みを作るための制度を立案する。

## <公2：教育・安全事業>

### 1) 教育委員会

#### ・教育プログラム等の策定

麻酔科医の生涯教育としての段階的目標を掲げ、その達成のための再教育プログラムの提供を行い、均質な医療水準の維持と普及を図る。

#### ・麻酔科関連業務に関わる医師、医療従事者、施設の審査・認定

麻酔科医は、周術期管理、救急、集中治療、ペインクリニック、緩和医療、総合診療などを主たる活動領域とし、医学・医療全般に深く関わっている。これらの分野での経験年数、研究実績、医療従事者や一般市民への指導・教育実績等の段階的到達目標を設定し、到達度にあわせて、麻酔科認定医、麻酔科指導医の資格を認定している。専門医については、日本専門医機構（以下、機構）認定専門医の事前審査を行い、新規、更新要件の検討を継続して行うとともに、安全で質の高い麻酔科関連医療を格差なく社会に提供するための施設認定、ならびに専門医研修体制である麻酔科研修プログラム認定を行う。プログラムの質の評価方法については具体的な方法を検討する。

所定の内規に則り下記資格ならびに施設の認定を実施する。

#### ①認定医等の新規認定、資格審査の実施

4月・8月・12月の計3回認定審査を実施する。

#### ②新規専門医

機構専門医認定試験を9月・10月に実施する。

#### ③新規指導医

麻酔科指導医新規認定の審査会を2月に実施する。

#### ④新規認定病院

4月・8月・12月の計3回認定審査を実施する。

#### ⑤各認定資格の資格更新審査

資格更新対象者の認定審査を実施する。

#### ⑥認定病院更新

麻酔科認定病院更新対象施設の認定審査を実施する。

#### ⑦機構認定専門研修プログラム

機構認定専門医の研修プログラムの審査を実施する。

#### ・生涯教育・研修

質の高い麻酔科医の育成のため、周術期管理、救急・集中医療、ペインクリニック、緩和医療等、危機管理、最新のトピックスについての新しい知識の定着を目的とした教育講座を開催している。

#### ・機構認定専門医審査

新規申請、更新申請ならびに研修プログラムの一次審査を実施し、機構へ審査結果を提出する。認定基準、専攻医の定員数に関しては、地域、専攻医に不利益が生じないように実態に応じた運用検討を行い、本学会会員に周知する。

- ・教育普及

麻酔科関連医療が十分普及していない諸外国において、教育講座等の開催、また周術期（手術前・中・後）の麻酔科業務について協働する医療従事者の教育を行い、その成果を当該国の社会に還元している。関西支部においては主として若手医師を対象とした症例検討会を年3回開催する。

- ・ICD認定

ICD制度協議会と連携し、年次学術集会で開催するICD講習会企画内容の検討を行う。その他、ICD認定申請窓口業務を行う。

## **2) 多職種連携委員会**

麻酔科医の医療機関における業務効率化、安全管理、および質の向上を目的に、麻酔科医以外の医師および多職種の麻酔関連業務への適正なマネジメントと連携を行うための指針等の事項について検討する。また、本学会が提供する教材、認定等の基準について検証を行い、事業全体との整合性を図る。

- ・周術期管理チーム部会

### ① 周術期管理チーム認定資格新規・更新審査

麻酔科医と共に手術室業務に従事する多職種（主に看護師、薬剤師、臨床工学技士）の非会員に対し、所定の教育効果を測る目的で周術期管理チーム認定を行う。新規認定および更新認定申請の受付、新規認定においては審査の上、筆記試験を実施する。

### ② 周術期管理チーム教材作成

看護師、薬剤師、臨床工学技士を対象としたセミナーを年次学術集会、支部学術集会（6支部）と併催する形で開催し、e-learningコンテンツとして配信する。周術期管理チームテキストの発行、販売を行い、教科書内容について検証する。

- ・術後疼痛管理研修部会

術後疼痛管理チーム加算に対応した研修を、本学会ならびに日本術後痛学会の麻酔科医と共に術後疼痛管理に係る看護師、薬剤師、臨床工学技士向けにe-learningコンテンツとして配信し研修修了者を輩出する。

- ・特定行為研修管理部会

高度急性期医療における他職種との協働がスムーズに実践できることを目的として「日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修」を提供し、特定行為の実施可能なより自立した看護師を育成する。全国の施設・機関で行われている特定行為研修の一環で、本学会が指定研修機関となり、その協力施設において麻酔科領域に関連する6区分8行為のパッケージ受講を可能とする。

指定研修機関として、その協力施設（認定病院）を募り、e-learning教材の提供、手順書モデルの提供、実技、演習等の進捗管理の補助を行い、特定行為パッケージ研修修了者の増加と修了者の活躍をサポートする。

## **3) 安全委員会**

- ・ガイドライン等作成

各ガイドライン等の作成・改訂を進める。

- ・医薬品情報の企業対応と会員周知
- ・CCP(Closed Claims Project)事業
  - ① 麻酔科学会会員関連の医事紛争終了事案調査等を継続して行う。
  - ② 団体医師賠償責任保険制度の内容について検討を行う。
- ・APSF(Anesthesia Patient Safety Foundation)ニュースレター日本語版作成事業  
米国のAPSFが発行するニュースレターを翻訳し、会員に周知する。

### <公3：公益事業>

#### 1) 広報委員会

本学会の活動を広く社会及び本学会会員に広報する普及啓発事業戦略を立て、一般社会、各種マスコミ、会員、臨床研修医、医学生、及び関係各省庁に向けた活動・検討を行う。

- ・医療全般、医療事故等の相談窓口

一般市民からの麻酔科関連医療に関する質問を電子メール、文書等で受け付け回答する。

- ・メディア戦略の検討・実施

取材協力、ニュースリリースの配布などを積極的に実施し、マスメディアを通じて広く社会に麻酔科関連医療を正しく理解してもらうための活動を行うとともに、2012年度に開設したFacebookの後継として、Xを通じて重要なお知らせの再周知を行う。また、ホームページの情報を整理し、見やすさを重視したアップデートに向けた検討を行う。

- ・臨床研修医、医学生に向けた活動

医学生、臨床研修医を対象に麻酔科業務の重要性などを広報する。学術集会時に対象者に向けた講演を企画するとともに、受講推奨企画を選別し、周知する。

- ・会員向けの情報提供

2015年度から開始したメールマガジンを継続配信し、会員へ麻酔科学会動向周知を図る。会員対象のニューズレターを年4号発行するとともに、電子化について検討する。

- ・市民への出版物発行と活動

一般市民向けにわかりやすく麻酔について解説した「麻酔のしおり」の改訂を検討する。また、「麻酔のしおり」の内容をよりわかりやすく伝えるため、しおりの付録として動画を配信する。さらに、手術・麻酔を受けることへの不安を軽減するため、「よくある術前合併症」をホームページに公開、解説する。

- ・「麻酔の日」のPR

麻酔の日を周知するため、ポスターや等を作成し、広報活動を行う。

- ・周術期禁煙推進事業

周術期禁煙の推進、普及を継続して検討する。

## 2) 麻酔博物館委員会

麻酔博物館事業として、麻酔博物館の運営を行う。

麻酔学関連の医療について今日の医療が確立されるまでの歴史的資料・医療機器を公開し、併せて最新機器の展示および収蔵を行い、正しい医学知識の普及を図る。麻酔関連の医療が、実際どのように行なわれているかを示す公開情報が少ないため、医療現場を再現・展示することにより、目で見て体感し、わかりやすい形で情報を得られる施設を目指す。

神戸 SDGs プログラム等を通じての団体見学の受け入れ、和文・英文ホームページの更新、各大学の麻酔科学教室の沿革情報の収集・館内公開などを行う。

来館者向けの記念品再制作を行う。

書籍・文書の整理と製本を行い、寄贈品の受け入れの可否を審議する。博物館インタビュー、については、広く会員から対象者候補を募る方針に変更し、具体的な候補者選出法を検討する。

その他、第 73 回学術集会時の特別展示・麻酔の日のため特別開館・第 75 回学術集会時の委員会企画などについて検討を行う。

## (2) 収益事業

### <収 1>

医師賠償責任保険の団体加入契約ならびに所得補償保険について、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、三井住友海上保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社と締結し、その仲介事務事業を行う。

### <収 2>

第 73 回学術集会開催、各支部学術集会開催時に、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施し、WEB 開催の場合はホームページ上で展示専用バナーを設置して本学会として展示小間、展示機会を提供する。

### <収 3>

当学会が所有している什器備品の一部を関連団体である日本麻酔科医会連合に賃貸する。

## (3) その他（管理運営部門）

### 1) 総務委員会

学会理念達成のため、麻酔科診療発展・医療貢献事業戦略、社会保険における麻酔科診療の評価の見直しおよび麻酔科医の労働環境の改善・整備に関する事業戦略を検討する。学会組織に係わる事項、すなわち組織運営に関する事項、会則検討に関する事項を担当する。

名誉会員推薦審査をはじめとする社内業務、他団体との渉外活動、外郭団体への実務協力（働き方改革における C-2 水準審査、CST 推進委員会等）、会則検討部会では会則の検討、社会保険部会では令和 8 年度診療報酬改定の検証や令和 10 年度診療報酬改定に向けた検討、学術集会での総務委員会企画検討と実施を行う。

### 2) 財務委員会

学会の財務基盤を長期的に安定させるため、適切な事業計画作成を可能とするために、過去の予算案、決算書、財務管理の実績と現状を分析し、将来的予測を見据えて正確な資金計画をたてる。学会の円滑な業務執行を可能にするために、健全な財務状況を維持するような計画を立案する。

### 3) 倫理委員会

麻酔科関連領域の医学・医療ならびに本法人の倫理に関する事項を検討する。また、各委員会で企画・施行されるアンケートおよび研究について倫理的問題の有無を確認する。利益相反に関しても審議する。

### 4) 事務局

円滑な事業運営が行えるよう業務の定期的な確認、見直しを行う。また、各事業から提出された事業報告書の確認を行い、運営が適正に行われたか否かを確認する。事業計画についても同様に、適正な事業か否かを判断し、財務委員会と連携して次年度予算作成と併せて審議を行う。

#### ・U40/ITF(Interactive Task Force)の活動について

広報委員会下から組織を移し、学会活動全体に若手会員の意見や知恵を取り組む仕組みを作ることを目指し、SNSや対面機会の設置により収集した問題の本質に近づく新たな視点での改善案を各委員会に提案する。

### 5) ハラスメント対策室

理事・監事よりハラスメントに関する秘密保持誓約書を取り付け、アンケートの実施とフィードバックを行う。

### 6) DEI 推進室

Diversity (多様性), Equity (公平性), Inclusion (包括性) を重視し、会務対応や実務経験等に様々な人材を登用し、将来的な役員構成において多様性をもたせるための活動を行う。

麻酔科医がキャリアを諦めることなく活躍できる働き方の工夫や制度の紹介等を行い、性別・年齢・社会的状況などに応じて充実した働き方の提案を行う中で、麻酔科診療の継続につながるような活動を検討する。職場の公平性を意識し、男女を問わず利用できる勤務体系の紹介、育児休暇の利用、復職支援システムを確立なども含め、麻酔科医のモチベーションを下げない働き方を推進する。

過去の調査を解析することにより、再アンケートや定期的にアンケートを実施すべきか否かの検討を行い、必要な調査が会員への実態調査なのか、市場調査かを見極める。また、再アンケートを行う際には有効な回答を得るための分析を行ったうえで実施し、その調査結果を基に推進室として提案、推進出来る具体的な内容を検討する。また、麻酔科の勤務体系、体制に沿った紹介、提案を行うための収集した情報を以て、事例や制度の紹介を会員に周知出来る有効な方法、講演の実施やニューズレターへの記事掲載、HP の専用ページ作成等を検討し、実施に向けて準備する。

### 7) 支部委員会

7つの部会（北海道・東北、関東・甲信越、東京、東海・北陸、関西、中国・四国、九州）を構成し、情報共有ならびに日本医療安全調査機構などからの事故調査の依頼に対し、本学会として委員派遣を行う。

### 8) 理事長管轄

#### ・システムの安定稼働

2025年4月にリリースした会員管理システム改修について安定稼働を目指す。

- ・ JSA PIMS について

JSA PIMS の運用・改修，会員への臨床効果データベース提供に関する検討を行う。

- ・ 情報統括について

本学会の意思決定，社会発信および学術発展を支える基盤組織として，「情報統括部門」を設置する。日本の麻酔科医を全国的に統括する学術団体である日本麻酔科学会として，分散して存在する各種情報を統合し，統一的なデータガバナンスのもとで活用していくことを責務としている。

## 9) その他

- ・ 登録・派遣

日本学術会議，日本医師会，日本医学会，厚生労働省医道審議会標榜医審査会，日本専門医機構，大学評価・学位授与機構，外科系医学会社会保険委員会連合，外科関連学会協議会，日本救急医療財団，日本蘇生協議会，3 学会合同呼吸療法士認定委員会，医療機能評価機構，日本骨髄バンク，日本臓器移植ネットワーク，全国 MC 協議会，全国医療安全共同行動，日本歯科麻酔学会，禁煙学術ネットワーク，WFSA，AARS 等に委員を派遣し，各々の目的と事業に合わせ連携・協力を行う。

- ・ 各種学術集会協賛・後援

関連協力団体の学術集会および講習会，市民公開講座等を協賛・後援する。

## 4. 2026 年度委員会委員等一覧

### ■■ 理事長管轄 責任者：内田 寛治 ■■

<情報統括部門室>

常務理事・総務委員長・学術委員長・広報委員長・JSA-PIMSWG 長・会員管理システム改修 WG 長・事務局

#### ◆ JSA-PIMS WG

W G 長：澤 智博

メンバー：石原 大雅	宇賀田 圭	内田 寛治	小澤 章子	北川 裕利
蔵谷 紀文	坂口 嘉郎	佐藤 威仁	讃岐美智義	鈴木 昭広
田中 克哉	富岡 俊也	長瀬 清	原 哲也	藤村 直幸
増井 健一	水野 彰人	山内 正憲	山田 高成	山田 康貴
山本 知裕				

#### ◆ 会員管理システム改修 WG

W G 長：讃岐美智義

メンバー：澤 智博	杉田 道子	鈴木 昭広	田中 克哉	田村 岳士
長瀬 清	増井 健一	山田 高成		
オブザーバー：萬 知子				

<チーム医療推進室>

事務局長・総務委員長・教育委員長・安全委員長・多職種連携委員長・常務理事

## 理事長管轄の外部団体

- 日本医師会  
疑義解釈委員会：齋藤 繁
- 日本医学会  
評 議 員：内田 寛治  
連 絡 委 員：山内 正憲
- 日本医学会連合  
選挙管理委員会 委員：高雄由美子
- 日本医療機器学会 ISO/TC121 国内委員会  
委 員：小嶋 大樹 藤原 亜紀
- 日本母体救命システム普及協議会 JCIMELS  
理 事：廣瀬 宗孝 水野圭一郎
- 無痛分娩関係学会・団体連絡協議会 JALA  
委 員：大原 玲子 廣瀬 宗孝 水野圭一郎
- World Federation of Societies of Anesthesiologists (WFSA)  
Diversity, Equity, and Inclusion (DEI)a Committee：田辺 瀬良美  
EducationCommittee：蔵谷 紀文  
Sustainabilityt Committee：川越 いづみ
- Asian and Australasian Regional Section (AARS)  
Treasurer：森松 博史

## ■■ 常置委員会 ■■

**総務委員会** 担当常務理事：富岡 俊也

委 員 長：富岡 俊也

副 委 員 長：佐藤 哲文

委 員：大槻 明広 北川 裕利 平木 照之 坊垣 昌彦 宮津 光範  
武藤ひろみ

### 〔会則検討部会〕

部 会 長：大槻 明広

部 会 員：小澤 章子 川越いづみ 北川 裕利 柴田 正幸 鈴木 武志  
平木 照之 武藤ひろみ

### 〔社会保険部会〕

部 会 長：佐藤 哲文

部 会 員：天谷 文昌 磯山 智史 川島征一郎 塚田さよみ 坊垣 昌彦  
宮津 光範 山本 俊介

## 総務委員会管轄の外部団体



部 会 長：小澤 章子

部 会 員：伊藤 伸子 高澤 知規 外山 裕章 山浦 健

**学 術 委 員 会** 担当常務理事：原 哲也

委 員 長：井上 聡己

副 委 員 長：江木 盛時

委 員：天谷 文昌 市川 順子 川股 知之 関 博志 新山 幸俊

村田 寛明

オブザーバー：川口 昌彦

**〔第 73 回学術集会実行委員会〕**

委 員 長：山蔭 道明

副 委 員 長：川口 昌彦

委 員：内田 寛治 江木 盛時 加藤 里絵 榎方 哲也 鈴木 孝浩

鈴木 康之 高澤 知規 新山 幸俊 平田 直之 山田 高成

◆ 循環 WG

W G 長：平田 直之

メンバー：伊藤明日香 田村 高廣 藤田 信子 前田 琢磨 吉川 裕介

◆ 呼吸 WG

W G 長：内田 寛治

メンバー：阿部 世紀 川越いづみ 河村 岳 駒澤 伸泰 東條健太郎

吉田 健史

◆ 神経 WG

W G 長：榎方 哲也

メンバー：恵川 淳二 神里 興太 立花 俊祐 古谷 健太 宮崎 智之

山下 敦生

◆ 小児・産科 WG

小児 WG 長：鈴木 康之

産科 WG 長：加藤 里絵

メンバー：青山 和由 秋永智永子 岡田 尚子 上村 友二 君塚 基修

谷口 由枝 茶木 友浩 名和由布子 野口 翔平 原 哲也

宮津 光範

◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG

W G 長：新山 幸俊

メンバー：澤田 敦史 住谷 昌彦 原田 英宜 藤原 亜紀 山口 重樹

若泉 謙太

◆ 救急・ICU WG

W G 長：江木 盛時

メンバー：青木 善孝 宇賀田 圭 甲斐 慎一 数馬 聡 佐藤 暢一

関野 元裕

◆ 麻酔科関連－1 WG

W G 長：鈴木 孝浩

メンバー：岩崎 創史 小原 伸樹 中澤 春政 廣瀬 宗孝 松岡 義和

◆ 麻酔科関連－2 WG

WG 長：高澤 知規

メンバー：末廣 浩一 早水 憲吾 増井 健一

◆ 麻酔全般 WG

WG 長：山田 高成

メンバー：枝長 充隆 大槻 明広 坂口 嘉郎 谷 真規子 長瀬 清  
松木 悠佳

[第74回学術集会実行委員会]

委員長：川口 昌彦

副委員長：山内 正憲

委員：江木 盛時 小原 伸樹 加藤 里絵 川越いづみ 川股 知之  
河野 崇 鈴木 康之 田中 聡 内藤 祐介 平田 直之  
山田 高成

◆ 循環 WG

WG 長：平田 直之

メンバー：伊藤明日香 甲谷 太一 田村 高廣 藤田 信子 前田 琢磨

◆ 呼吸 WG

WG 長：川越いづみ

メンバー：鶴澤 康二 河村 岳 鈴木 昭広 外山 裕章 東條健太郎  
吉田 健史

◆ 神経 WG

WG 長：河野 崇

メンバー：恵川 淳二 神里 興太 櫛方 哲也 立花 俊祐 古谷 健太  
森 隆

◆ 小児・産科 WG

小児 WG 長：鈴木 康之

産科 WG 長：加藤 里絵

メンバー：青山 和由 岡田 尚子 上村 友二 狩谷 伸享 田辺 瀬良美  
谷口 由枝 茶木 友浩 土居 ゆみ 野口 翔平 原 哲也  
宮津 光範

◆ ペイン緩和・局所麻酔 WG

WG 長：川股 知之

メンバー：大橋 宣子 栗山 俊之 新山 幸俊 藤原 亜紀 宮崎 智之  
若泉 謙太

◆ 救急・ICU WG

WG 長：江木 盛時

メンバー：青木 善孝 甲斐 慎一 川上 正晃 壽原 朋宏 関野 元裕  
園部 奨太

◆ 麻酔科関連－1 WG

WG 長：小原 伸樹

メンバー：位田みつる 仙頭 佳起 中澤 春政 廣瀬 宗孝 松岡 義和

◆ 麻酔科関連－2WG

WG 長：田中 聡

メンバー：朝元 雅明 田中 暢洋 末廣 浩一 増井 健一

◆ 麻酔全般WG

WG 長：山田 高成

メンバー：大槻 明広 坂口 嘉郎 谷 真規子 内藤 祐介 長瀬 清  
松木 悠佳

〔「麻酔」編集会議〕

委員：井上 聡己 江木 盛時

〔機関誌専門部会〕

部長：井上 聡己

部会員：天谷 文昌 市川 順子 市瀬 史 小原 伸樹 川口 昌彦  
河野 崇 川股 知之 末廣 浩一 関 博志 照井 克生  
平田 直之

〔JA Clinical Reports Editorial Board〕

Editor-in-Chief：小原 伸樹

Section Editor：青山 和由 浅井 隆 天谷 文昌 井上 莊一郎  
江木 盛時 垣花 学 川口 昌彦 河野 崇  
櫛方 哲也 齋藤 繁 末廣 浩一 角倉 弘行  
高澤 知規 照井 克生 日向 俊輔 平田 直之  
堀田 訓久 増井 健一 村田 寛明 山蔭 道明

〔Journal of Anesthesia Editorial Board〕

Editor-in-Chief：天谷 文昌

Associate Editor-in-Chief：浅井 隆

Section Editor：青山 和由 (Pediatric Anesthesia)  
江木 盛時 (ICU & Emergency Medicine)  
小原 伸樹 (Clinical Reports)  
河野 崇 (Clinical Pharmacology)  
櫛方 哲也 (Neuroscience)  
末廣 浩一 (Perioperative Assessment and Management)  
高澤 知規 (Social Problem, Education and Economics)  
田中 聡 (Pain Medicine)  
東條健太郎 (Respiratory Medicine)  
新山 幸俊 (Clinical Monitoring)  
日向 俊輔 (Obstetric Anesthesia)  
平田 直之 (Cardiovascular Medicine)  
増井 健一 (Statistics)  
村田 寛明 (Regional Anesthesia)

Editorial Board: 角倉 弘行  
山蔭 道明

**〔麻醉科学用語専門部会〕**

部 会 長: 新山 幸俊  
部 会 員: 枝長 充隆 角田 奈美 川越いづみ 志馬 伸朗 角倉 弘行  
増井 健一 村田 寛明

学術委員会管轄の外部団体

- 一般社団法人 臨床試験医師養成協議会  
理 事: 井上 聡己

**国際交流委員会** 担当常務理事: 山田 高成

委 員 長: 森松 博史  
副 委 員 長: 田辺瀬良美  
委 員: 斉藤 仁志 松木 悠佳 安田 篤史 吉田 健史

**広報委員会** 担当常務理事: 富岡 俊也

委 員 長: 杉田 道子  
副 委 員 長: 川越いづみ 坂口 嘉郎  
委 員: 植田 健一 内田篤治郎 長瀬 清 山田 康貴

◆ 周術期禁煙推進WG

W G 長: 川越いづみ  
メンバ-: 甲斐 哲也 久利 通興 田辺久美子 中川 雅史 山下 千鶴  
米倉 寛  
オブザーバ-: 飯田 宏樹

広報委員会管轄の外部団体

- 禁煙推進学術ネットワーク  
理 事: 川越 いづみ

**教育委員会** 担当常務理事: 田中 克哉

委 員 長: 田中 克哉  
副 委 員 長: 谷口 巧 秋吉浩三郎  
委 員: 小嶋亜希子 斎藤 淳一 鈴木 武志 森 隆  
オブザーバ-: 佐和 貞治

◆ CBT WG

W G 長: 鈴木 武志  
メンバ-: 秋吉浩三郎 田中 克哉 寺嶋 克幸 新山 幸俊  
オブザーバ-: 佐和 貞治

◆ 臨床実績認定用 E-test 検討 WG

W G 長：谷口 巧

メンバー：秋吉浩三郎 枝長 充隆 大槻 明広 荻野 祐一 杉田 道子  
関野 元裕 高木 俊介 高澤 知規 田中 克哉 新山 幸俊  
藤村 直幸

◆ 初期研修医に対する教育ガイドライン(手順書)作成のための WG

W G 長：鈴木 昭広

メンバー：小澤 章子 栗山 俊之 田中 克哉 谷 真規子 中澤 春政  
新山 幸俊 二階 哲朗

◆ 新しい指導医資格の教育・認定方法検討 WG

W G 長：田中 克哉

メンバー：小澤 章子 川口 昌彦 小嶋 亜希子 斎藤 淳一 田中 聡  
坊垣 昌彦 村田 寛明

◆ ICD 制度協議会運営 WG

W G 長：斎藤 淳一

メンバー：生田 義浩 小澤 章子 鈴木 昭広 森山 潔

[認定審査委員会]

委員長：田中 克哉

副委員長：秋吉浩三郎 森 隆

委員：鈴木 武志

[第1部会(専門医認定)]

部会長：秋吉浩三郎

部会員：倉橋 清泰 合谷木 徹 坂口 嘉郎 谷口 巧 戸田雄一郎  
森 隆

[認定審査委員会 第1部会(専門医認定)筆記試験]

問題作成責任者：秋吉浩三郎

メンバー：朝元 雅明 賀来 隆治 紙谷 義孝 北村 咲子 斎藤 淳一  
白水 和宏 関野 元裕 祖父江和哉 富岡 俊也 牧野 洋  
溝田 敏幸 森山 潔

オブザーバー：鈴木 武志 田中 克哉

[認定審査委員会 第1部会(専門医認定)口頭試験]

問題作成責任者：新山 幸俊

メンバー：北川 裕利 小山 薫 五代 幸平 澤田 敦史 高澤 知規  
谷 真規子 寺島 哲二 土居 ゆみ 中村 智之 藤井 啓介  
松崎 孝 森 隆 安田 篤史

オブザーバー：田中 克哉

[認定審査委員会 第2部会(指導医認定)]

部 会 長：田中 克哉  
部 会 員：大槻 明広 齋藤 淳一 鈴木 武志

〔認定審査委員会 第3部会（認定医，認定病院認定）〕

部 会 長：森 隆  
部 会 員：石川 真士 小嶋亜希子 祖父江和哉 山浦 健

〔認定審査委員会 第4部会（研修プログラム認定）〕

部 会 長：秋吉浩三郎  
部 会 員：加藤 里絵 倉橋 清泰 小嶋亜希子 小山 薫  
齋藤 淳一

教育委員会管轄の外部団体

- 日本専門医機構 専門医検討委員会(認定・更新)  
委 員：田中 克哉
- 日本専門医機構 研修検討委員会(プログラム等)  
委 員：田中 克哉
- 集中治療科専門医検討委員会  
委 員：江木 盛時 谷口 巧 吉田 健史
- 救急科サブスペシャリティ領域連絡協議会(集中治療領域)  
委 員：田中 克哉 原 哲也 藤村 直幸
- 日本専門医機構 集中治療科領域検討委員会  
委 員：内田篤治郎 谷口 巧 吉田 健史
- ICD 制度協議会  
委 員：齋藤 淳一

**安 全 委 員 会** 担当常務理事：原 哲也

委 員 長：原 哲也  
副 委 員 長：藤原 亜紀 山口 重樹  
委 員：枝長 充隆 谷 真規子 中村 智之 水本 一弘

〔CCP 専門部会〕

部 会 長：山口 重樹  
部 会 員：吾妻 俊弘 杉田 道子 中澤 春政 長瀬 清 二階 哲朗

◆ APSF ニュースレター日本語版作成 WG

W G 長：祖父江和哉  
メンバ－：太田 亮 岡田 尚子 川越いづみ 木村 哲朗 車 有紀  
酒井 陽子 澤 智博 関 博志 仙頭 佳起 田辺久美子  
豊國 佑季 中澤 春政 福田 征孝 藤井 怜 藤本 陽平  
村木 真美 森 由美子 安田 篤史 吉村 達也

◆ 小口径コネクタ－の影響検討 WG

W G 長：斎藤 淳一

メンバー：海法 悠 小嶋 大樹 野口 智子 山内 正憲

◆ 全身麻酔用医薬品投与制御プログラムの使用指針作成 WG

W G 長：鎌田ことえ

メンバー：柴田 康之 中西 美保 藤村 直幸

◆ 術前絶飲食ガイドライン改訂 WG

W G 長：祖父江和哉

メンバー：宇賀田 圭 佐々木俊郎 谷口 英喜 山添 大輝

◆ MEP モニタリング時の麻酔管理のためのプラクティカルガイド改訂 WG

W G 長：川口 昌彦

メンバー：和泉 俊輔 一ノ宮大雅 垣花 学 小嶋 大樹 林 浩伸

福岡 尚和 古谷 健太 吉谷 健司 米倉 寛

オブザーバー：飯田 宏樹

◆ アナフィラキシーガイド改訂 WG

W G 長：高澤 知規

メンバー：天野 靖大 崎村正太郎 杉山 由紀 堀内 辰男 松岡 義和

◆ 安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のためのプラクティカルガイド改訂 WG

W G 長：徳嶺 譲芳

メンバー：枝長 充隆 岡野 弘 武田 吉正

オブザーバー：山蔭 道明

◆ 麻酔データベース WG

W G 長：山内 正憲

メンバー：秋吉浩三郎 伊藤 伸子 市川 順子 井上 聡己 大槻 明広

佐藤 威仁 志賀 卓弥 中村 京太 藤村 直幸 牧戸香詠子

若泉 謙太

◆ 医薬品ガイドラインフォーカス改訂 WG

W G 長：山浦 健

メンバー：岩崎 達雄 白水 和宏

安全委員会管轄の外部団体

● 医療安全全国共同行動

委員：原 哲也

● 人工臓器治療関連学会協議会

委員：藤野 裕士

● 抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン改訂 WG

W G 長：中本 達夫

メンバー：上村 友二 田中 聡 田村 高廣 平木 照之

**関連領域検討委員会** 担当常務理事：田中 克哉

委員 長：藤村 直幸

副委員 長：照井 克生 間宮 敬子

委員：鈴木 昭広 中嶋 康文 名和由布子 松田 直之 渡邊 恵介

〔集中治療領域検討部会〕

部 会 長：松田 直之

部 会 員：内山 昭則 江木 盛時 数馬 聡 志馬 伸朗 吉田 健史

〔ペイン領域検討部会〕

部 会 長：渡邊 恵介

部 会 員：上野 博司 大西 詠子 澤田 敦史 濱口 眞輔

〔緩和領域検討部会〕

部 会 長：間宮 敬子

部 会 員：佐藤 哲観 橋口さおり 松本 禎久

オブザーバー：天谷 文昌

〔救急領域検討部会〕

部 会 長：鈴木 昭広

部 会 員：志馬 伸朗 谷口 巧 成松 英智 野田英一郎

〔心臓血管麻酔領域検討部会〕

部 会 長：中嶋 康文

部 会 員：黒川 智 武井 祐介 能見 俊浩 平田 直之 吉川 裕介

〔小児麻酔領域検討部会〕

部 会 長：名和由布子

部 会 員：泉 薫 岩崎 達雄 香川 哲郎 川人 伸次 吉野 淳

〔産科麻酔領域検討部会〕

部 会 長：照井 克生

部 会 員：狩谷 伸享 杉田 道子 角倉 弘行

◆ 救急救命士の気管挿管実習の現状と今後を考える WG

W G 長：鈴木 昭広

メンバー：荒川 穰二 漢那 朝雄 谷口 巧 原 哲也

関連領域検討委員会管轄の外部団体

● 日本救急医療財団

心 肺 蘇 生 法 委 員 会 委 員：鈴木 昭広

非医療従事者による AED 使用のあり方特別委員会委員：鈴木 昭広

● 日本蘇生協議会

理 事：小澤 章子

● 全国MC協議会連絡会世話人会

世 話 人：松田 直之

● 緩和ケア関連団体会議

委員：間宮 敬子

● 3学会合同呼吸療法士認定委員会

委員：内田 寛治 川前 金幸 中澤 弘一 山田 芳嗣

**麻酔博物館委員会** 担当常務理事：山内 正憲

委員長：上林 卓彦

委員：尾前 毅 香河 清和 澤村 成史 谷口 由枝 牧野 洋

オブザーバー：土手健太郎

**〔麻酔博物館館員ボード〕**

館長：齋藤 繁

館員：伊吹 京秀 奥富 俊之 金子 武彦 上林 卓彦 武田 純三

土手健太郎 牧野 洋 松木 明知 間宮 敬子

**多職種連携委員会** 担当常務理事：山内 正憲

委員長：廣瀬 宗孝

副委員長：田中 聡

委員：大西 詠子 角田 奈美 小坂橋俊哉 内藤 祐介 水野圭一郎

**〔周術期管理チーム部会〕**

部会長：廣瀬 宗孝

部会員：角田 奈美 鈴木 孝浩 内藤 祐介 長坂 安子 藤村 直幸

日本手術看護学会：2名

日本臨床工学技士会：2名

◆ 周術期管理チーム試験問題作成 WG

WG 長：川股 知之

メンバー：石田 高志 石田 裕介 岡田 雅子 上村 友二 神谷 岳史

北村 咲子 酒井 陽子 杉本真理子 鈴木 昭広 高田 真二

中澤 圭介 中澤 遥 蜷川 純 松浦 正 簗島 梨恵

三股 亮介 矢田部智昭 吉田 朱里 若林 諒

日本手術看護学会：岡崎 政秀

日本臨床工学技士会：荒木 康幸 内山明日香

◆ 周術期管理チームテキスト作成 WG

WG 長：鈴木 孝浩

メンバー：植木 隆介 河野 達郎 佐藤 暢一 高田 真二 道宗 明

中澤 春政

日本手術看護学会：1名

日本病院薬剤師会：1名

日本臨床工学技士会：1名

◆ 周術期管理チームセミナーWG

WG 長：関 博志

メンバー：植木 隆介 鎌田ことえ 川瀬 宏和 鈴木 聡 立花 俊祐  
内藤 祐介 長坂 安子 長瀬 清 ハシチウオヴィッチ トマシユ  
原 将人 湊 弘之

〔術後疼痛管理研修部会〕

部会長：田中 聡

部会員：植木 隆介 川股 知之 ハシチウオヴィッチ トマシユ

〔特定行為研修管理部会〕

部会長：内藤 祐介

副部会長：北川 裕利

部会員：秋吉浩三郎 長坂 安子 藤村 直幸 松永 明

外部委員：山口 円

◆ 多職種へのタスクシフト・タスクシェアに係る安全検証WG

WG 長：廣瀬 宗孝

メンバー：川股 知之 鈴木 孝浩 田中 聡 内藤 祐介 長坂 安子  
藤村 直幸

多職種連携委員会管轄の外部団体

● 日本臨床工学技士会

理事：山蔭 道明 2026/6/6 交代予定：小澤 章子

■■ 特別委員会 ■■

【支部委員会】 責任者：内田 寛治

委員長：内田 寛治

副委員長：山内 正憲

委員：井上 聡己 寺嶋 克幸 山口 重樹 谷口 巧 廣瀬 宗孝  
森松 博史 垣花 学

〔北海道・東北部会〕

部会長：井上 聡己

部会員：枝長 充隆, 黒澤 伸, 櫛方 哲也, 斎藤 淳一, 斉藤 仁志,  
下田 栄彦, 鈴木 健二, 新山 幸俊, 外山 裕章, 牧野 洋,  
千野 晃嗣, 山内 正憲, 山蔭 道明, 横山 健

### 〔東京部会〕

部 会 長：寺嶋 克幸

部 会 員：石川 真士，内田 寛治，内田篤治郎，大江 克憲，加藤 里絵，  
香取 信之，川越いづみ，澤村 成史，鈴木 孝浩，武田 吉正，  
長坂 安子，中澤 春政，森山 潔，山田 高成

### 〔関東・甲信越部会〕

部 会 長：山口 重樹

部 会 員：井上 莊一郎，岡本 浩嗣，奥田 泰久，假屋 太郎，北村 晶，  
北村 享之，木下 真弓，小坂橋俊哉，後藤 隆久，齋藤 繁，  
田口奈津子，田中 聡，照井 克生，馬場 洋

### 〔東海・北陸部会〕

部 会 長：谷口 巧

部 会 員：秋山 浩一，小澤 章子，賀来 隆治，紙谷 義孝，祖父江和哉，  
高澤 知規，高橋 完，高橋 麗子，高田 基志，中村 智之，  
藤田 義人，松木 悠佳

### 〔関西部会〕

部 会 長：廣瀬 宗孝

部 会 員：天谷 文昌，上山 博史，江木 盛時，小幡 典彦，川股 知之，  
上林 卓彦，川口 昌彦，北川 裕利，中嶋 康文，南 敏明，  
美馬 裕之，森 隆，山田 徳洪，吉田 健史

### 〔中国・四国部会〕

部 会 長：森松 博史

部 会 員：大下 恭子，大槻 明広，荻野 祐一，奥 格，河野 崇，  
讃岐美智義，田中 克哉，堤 保夫，戸田雄一郎，二階 哲朗，  
西原 佑，日高 秀邦，松崎 孝，森永 俊彦

### 〔九州部会〕

部 会 長：垣花 学

部 会 員：秋吉浩三郎，泉 薫，坂口 嘉郎，杉田 道子，原 哲也，  
平木 照之，平田 直之，藤村 直幸，堀下 貴文，増田 美奈，  
松永 明，松本 重清，矢野 武志，山浦 健

### 支部委員会管轄の外部団体

#### ●日本医療安全調査機構

代 表：山内 正憲

北海道東北ブロック：井上 聡己

関東ブロック：山口 重樹

東京ブロック：寺嶋 克幸

東海北陸ブロック：谷口 巧

近畿ブロック：廣瀬 宗孝

中国四国ブロック：森松 博史

九州ブロック：垣花 学

●厚生労働省医道審議会標榜医審査会

委員：井上 聡己 小澤 章子 垣花 学 木下 真弓 寺嶋 克幸  
加藤 里絵 藤原 亜紀 森松 博史

■■ 運営部門 ■■

<事務局（神戸事務局・東京事務所）> 担当常務理事：山内 正憲

事務局長：山内 正憲

副事務局長：垣花 学 渋谷 博美

事務局：青山 和由 荻野 祐一 齋藤 繁 白水 和宏 美馬 裕之

オブザーバー：上村 裕一

◆ U40/ITF(Interactive Task Force)

WG 長：山田 康貴

メンバー：石原 大雅 鵜沼 篤 衛藤 由佳 岡野 弘 金子 翔平  
神谷 諭史 亀山 暁世 河野 裕美 佐藤 威仁 佐藤 恒久  
白石 貴大 杉本 健輔 遠山 光 富永 将三 中森 裕毅  
平井 直樹 藤本 由貴 法里 慧 松岡 勇斗 水野 彰人  
山本 知裕 鏈水 健也 弓場 智雄 和久田千晴

オブザーバー：田村 岳士

<DEI 推進室> 責任者：山内 正憲

推進室長：渋谷 博美

室員：川名 由貴 杉田 道子 堤 保夫 森 隆

オブザーバー：小澤 章子 木下 真弓

<ハラスメント対策室> 責任者：山内 正憲

室長：山田 高成

室員：外山 裕章 松木 悠佳

<選挙管理委員会> 責任者：山内 正憲

委員長：上村 裕一

委員：足立 健彦 白神 豪太郎

以上